

月報だより

て行います。

茨城大学理学部自然機能科学科助手公募

1. 助手1名
2. (1) 茨城大学理学部自然機能科学科宇宙物質学講座
(2) 水戸市文京2-1-1
3. 電波天文学, 星間分子分光, 天体化学のいずれかの分野
4. 独立して活発な研究を推進できる意欲的な人
5. 採用決定後できるだけ早い時期
7. (1) 略歴・研究歴(フォーマット自由), (2) これまでの研究概要と今後の研究計画, (3) 業績リスト, (4) 主要論文別刷り5編以内, (5) 推薦書2通
8. 1999年9月20日(月)必着
9. (1) 310-8512 水戸市文京2-1-1 茨城大学理学部自然機能科学科学科長 西原美一
電話 029-228-8356
e-mail: amano@mito.ipc.ibaraki.ac.jp
あるいは 坪井昌人
電話 029-228-8362 FAX 029-228-8403
e-mail: tsuboi@mito.ipc.ibaraki.ac.jp
10. 封筒に「宇宙物質助手公募書類在中」と朱書きし留めで送付のこと。

国立天文台COE研究員公募

1. COE研究員1名
2. (1) ハワイ観測所, (2) 米国ハワイ州ヒロ
3. 光学赤外線天文学
4. ハワイ観測所において大型光学赤外線望遠鏡「すばる」プロジェクトに従事し, 各種技術開発試験, 観測, 解析研究を推進する。
5. (1) 平成11年10月1日, (2) 原則として2年
6. 博士の学位取得または平成11年10月1日までに取得見込みのもの, 平成11年10月1日現在35歳未満のもの
7. (1) 略歴書(写真付き), (2) 研究歴(これまでの研究成果の概要を含む), (3) 研究論文リスト(査読論文とそれ以外を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すること, また主要論文の別刷を付すこと), (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 推薦書(ある場合は添付)
8. 1999年8月31日必着
9. (1) 181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 650 N. A'ohoku Pl, Hilo, HI 96720, USA

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mailで gjjimu@tenmon.or.jp 宛, なお, 原稿も必ず 0422-31-5487迄 Fax でお送り下さい。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員(ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他(待遇など)

国立天文台教官公募

1. 助教授1名
2. (1) 電波天文学研究系
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 電波天文学(宇宙電波分野)
4. 45m電波望遠鏡やミリ波干渉計などの既存装置の開発・運用を行いつつ観測的成果をあげ, 大型ミリ波サブミリ波干渉計計画の実現につなげる意欲ある助教授を求めます。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程終了, 又はそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴(これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと)及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に, 前記事項(1)~(4)の概要がわかる書類。
8. 平成11年9月10日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山
国立天文台電波天文学研究系主幹 中井直正
TEL:0267-98-4392 E-mail:nakai@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「電波天文学(宇宙電波分野)助教授人事応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議会におい

ハワイ観測所長 海部宣男
Tel: +1-808-934-5910 または
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台企画調整主幹 観山正見
Tel: 0422-34-3738

10. 封筒の表に「ハワイ観測所 COE 研究員応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 待遇は非常勤講師の扱いです。

研究助成

第 13 回日本 IBM 科学賞について

日本天文学会に標記の案内がきております。その概要をお知らせします。推薦書類は天文学会事務所にありますからお申し出下さい。応募締切は 8 月 15 日(日)必着となっています。

名 称：日本 IBM 科学賞

目 的：わが国における基礎研究の振興と若手研究者の育成

候補者資格：

- 1) 国内の大学あるいは公的研究機関に所属し、その研究活動の分野が、つぎのような領域に該当する基礎研究者(国籍は問わない)

- (1) 物理
- (2) 化学
- (3) コンピューターサイエンス
- (4) エレクトロニクス

- 2) 平成 11 年 8 月 15 日現在満 45 歳以下であること

受賞人数：6 名(6 件、原則として 1 件 1 名とします)

推薦方法：国内の大学あるいは公的研究機関等に所属されている方の推薦

選 考：審査委員会により決定する

賞 金：300 万円(1 件)

発 表：推薦者を通じて通知(10 月下旬予定)

1999 年度朝日賞候補者の推薦について

朝日新聞文化財団より標記の依頼がきております。

朝日新聞社の推薦票は天文学会事務所にあります。

1. 候補者の対象：わが国のさまざまな分野で傑出した業績をあげ、文化・社会の向上に貢献された個人または団体。
 2. 締切：1999 年 8 月 31 日(火)必着
 3. 発表：2000 年元日の朝日新聞紙上。
- お問い合わせ及び送付先：〒104-8011 中央区築地 5-3-2

朝日新聞社文化企画局文化メセナ部「朝日賞」係
電話 03-5540-7453 FAX 03-3541-8999

平成 11 年度 東レ科学技術賞・研究助成の候補者推薦のお願い

東レ科学振興会から次の概要が届きましたのでお知らせいたします。応募用紙は日本天文学会までご請求下さい。

I. 東レ科学技術賞(概要)

1. 候補者の対象……天文学会に関する分野で、下記に該当するもの
 - (1) 学術上の業績が顕著なもの
 - (2) 学術上重要な発見をしたもの
 - (3) 重要な発明をして、その効果が大きいもの
 - (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの

2. 科学技術賞……1 件につき、賞状、金メダルおよび賞金 500 万円、2 件前後。

3. 候補者推薦件数……1 学協会から 2 件以内

II. 東レ科学技術研究助成(概要)

1. 候補者の対象……天文学会に関する分野で、基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者。

2. 研究助成……総額 1 億 3 千万円、1 件 3 千万円程度まで 10 件程度。

3. 候補者推薦件数……1 学協会から 2 件以内。

III. 天文学会必着日(I, II とも)…平成 11 年 9 月 10 日(金)

第 2 回大学婦人協会守田科学研究奨励賞 受賞候補者募集要項

趣 旨：本賞は化学教育者故守田純子氏から女性科学研究者育成のために遺贈された資金を基にして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として新しく設けられたものです。

対 象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、将来自然科学の発展に貢献することが期待される 40 歳未満(応募締切日現在)の女性科学者を対象としています。

授賞件数：年 2 件以内

賞状および副賞 30 万円を贈呈します。

提出書類：1. 推薦状、2. 略歴、3. 研究業績リスト、主要な論文別刷、4. 主な研究題目とその概要および今後の展望と抱負等(A4 版 1～2

頁程度)

応募締切日：1999年11月30日(火)(必着)

書類送付先および連絡先：

社団法人大学婦人協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101

Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889

なお、第1回受賞者はつぎの2方でした。

斎藤礼子博士

東京工業大学大学院理工学研究科助手(高分子化学)

原田慶恵博士

慶應義塾大学理工学部物理学科講師(生物物理学)

日本証券奨学財団

平成11年度研究調査助成募集

標記助成金の募集要項が、学会宛に届いております。対象者は、大学に於いて学術文化の研究調査に従事している個人又はグループで、研究者は55歳以下ですが、グループ代表者は55歳以下とは限りません。

理学・工学については、新素材及び環境改善に関する萌芽的研究。

◎助成金総額：6,000万円

1件につき100万円程度で、多額の経費を必要とする特別研究調査は、300万円以内。

◎申請の手続：助成金の申請は、本財団所定の申請書(天文学会にあります)に所属機関の長及び専門の学者の推薦書を添え、平成11年8月20日(金)までに本財団までに提出する。なお、申請は1大学当たり1部門につき2件以内とする。

照会及び提出先：

〒103-0025 中央区日本橋茅場町1-5-8 東京証券会館F6(財)日本証券奨学財団

第11回日本天文学会研究奨励賞受賞候補者の推薦について

本会は、優れた研究成果を挙げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しております。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近3年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度の初日で35才以下の者であって、原則として1年に1名を対象とし、賞牌(メダル)及び賞金を併せ授与しています。平成11年度の受賞候補者の推薦状を1999年9月30日(必着)までに、日本天文学会研究奨励賞選考委員会宛に、

お送り下さい。委員会では、推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を評議員会に推薦致します。

なお、推薦の際、主要論文リストも添付していただければ幸いです。

宛先：〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

日本天文学会 研究奨励賞選考委員会宛

TEL: 0422-31-1359 FAX: 0422-31-5487

参考：これまでの受賞者は次の方々です。

- | | | |
|-----|-------|--|
| 第一回 | 長谷川哲夫 | 「蛍光励起分子の研究」 |
| | 吉田春夫 | 「非線形力学系の積分可能条件の研究」 |
| 第二回 | 須藤 靖 | 「銀河形成論と宇宙マッハ数テストの提唱」 |
| 第三回 | 山本 智 | 「実験室分光による星間分子の研究」 |
| 第四回 | 嶺重 慎 | 「降着円盤の不安定性の理論的研究」 |
| 第五回 | 関口真木 | 「汎用 CCD カメラ制御システムとモザイク CCD カメラの開発」 |
| 第六回 | 山下卓也 | 「星・惑星系形成過程の観測的研究と赤外線観測装置の開発」 |
| | 伊藤智義 | 「重力多体問題専用計算機の開発」 |
| 第七回 | 中川貴雄 | 「遠赤外線分光観測システムの開発とそれによる銀河系[CII]スペクトルサーベイ」 |
| 第八回 | 三好 真 | 「VLBI 観測による NGC4258 銀河中心核における巨大ブラックホール候補の発見における貢献」 |
| 第九回 | 太田耕司 | 「遠方銀河の観測的研究」 |
| 第十回 | 大橋永芳 | 「動的降着エンベロープの系統的研究」 |
| | 横山央明 | 「太陽 X 線ジェットとフレアの電磁流体数値シミュレーション研究」 |

研究会・集会案内

鹿島宇宙通信センター(通信総合研究所)

一般公開のお知らせ

鹿島宇宙通信センターでは、施設や研究内容の紹介を目的に一般公開を行ないます。電波天文学や宇宙工学などの最先端に、子どもから大人まで楽しく触れることができるイベントを用意しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

開催日時：1999年7月31日(土)10時～16時

開催場所：〒314-0012 茨城県鹿嶋市平井893-1

郵政省通信総合研究所 鹿島宇宙通信センター

紹介内容：○ VLBI 技術開発、○ 宇宙測地による首都圏

広域地殻変動の観測, ○人工衛星による通信・放送技術の研究開発, ○様々な軌道開発(静止軌道・8の字軌道・カオス軌道), ○衛星の軌道資源を有効活用するための観測・監視, ○リモートセンシングによる地球観測, スタンプラリー・工作教室・立体画像鑑賞などを企画しています。

交通機関:

【高速バス利用】JR 東京駅からの高速バスが便利です。八重洲南口高速バス4番乗り場から「鹿島神宮行き」で「鹿島宇宙通信センター」下車。徒歩1分。

所用時間:約2時間。運賃:1,780円(こども890円)。回数券は6枚つづり8,850円。

【列車・路線バス利用】JR 鹿島線「鹿島神宮駅」より関東鉄道バス「宇宙通信センター」行き又は「電波研」行き, 終点下車。

所用時間:約20分, 徒歩1分。

【乗用車利用】東関東自動車道潮来ICより20分

●注意事項●

- ・駐車場が混みますので電車又はバスをご利用下さい。
- ・安全確保のため, 構内および周辺の警備員・標識の指示に従って下さい。
- ・小学校低学年のご来場は, 保護者同伴をお願いします。
- ・構内には食堂施設がありません。
- ・入場無料です。

【問い合わせ先】鹿島宇宙通信センター

代表電話 0299-82-1211 FAX 0299-84-7156

【ホームページ】<http://www.crl.go.jp/ka/index-j.html>

OPTICS JAPAN' 99 in 大阪

主催:日本光学会(応用物理学会)

日本光学会(応用物理学会)では, 年次学術講演会としてOPTICS JAPANを開催します。本講演会は, 光学および光学技術に関する研究発表の場であるとともに, 日本の光学分野における新しい情報発信の場でもあります。「光」に関する広い分野からの話題について講演を募集していますので, ふるってご応募下さい。

今年は, 11月の開催で, 二日半の日程で行います。特別講演のほか, オリジナル発表中心の「公募型のシンポジウム」を開催しますので積極的な応募を期待します。

日時:1999年11月23日(火)~25日(木)

場所:大阪大学 コンベンションセンター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

講演募集内容:光学および光技術関連分野における新しい研究で, 未発表のもの。

シンポジウム:○光誘起による微細配向構造の制御, ○周期構造と共鳴効果による光デバイス, ○回折素子による光技術の展開, ○時間空間発展する波動場の像形成, ○次世代光インターコネクション, ○視覚的注意,

○次世代のホログラフィを目指して, ○光学薄膜素子の新提案・高機能化および量産化, ○これからの生体医用光学を担うキーテクノロジー

参加費:(日)10/23までに申込みの場合(カードまたは銀行振り込み) 参加費:一般3,000円(会員), 4,000円(非会員), 学生1,000円, 予稿集代:3,000円, 懇親会費:4,000円(一般, 学生)(月)10/24以降に申込みの場合 参加費:一般4,000円(会員), 5,000円(非会員), 学生2,000円, 予稿集代:4,000円, 懇親会費:5,000円(一般), 4,000円(学生)

講演申込方法:日本光学会誌「光学」7号に掲載

講演申込締切:1999年8月31日(火)正午必着

予稿集原稿:「光学」7号に示す書式で, 図・表・文献を含めてA4判2ページ

予稿集原稿締切:1999年9月30日(木)正午必着

問合せ先:OPTICS JAPAN' 99事務局

〒565-0871 吹田市山田丘2-1

大阪大学工学研究科 応用物理学専攻
河田研究室内

e-mail:oj99@ap.eng.osaka-u.ac.jp

<http://lasie.ap.eng.osaka-u.ac.jp/oj99/>

国立天文台野辺山観測所特別公開のおしらせ

文部省国立天文台
電波天文学研究系
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

当観測所では, 天文知識の普及と観測所の仕事を皆様にも広く知っていただくため, 下記の要領で観測所の諸設備を一般の方々に公開いたしますので, ご案内申し上げます。

1. 日時:1999年9月23日(木・祝)午前10時から午後4時まで
2. 内容:
 - (1) 見学 通常の見学コースのほか, 45m電波望遠鏡の観測室, 10mミリ波干渉計の観測室, 電波ヘリオグラフの観測室, 観測データを処理する計算機等を見学できます。
 - (2) 展示 テーマ「電波望遠鏡の過去・現在・未来」宇宙からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや, 最近の観測結果を展示します。
 - (3) 講演 「ダイナミックな太陽—X線と電波がひらいた最新の太陽像」
横山央明(国立天文台) 11:00~12:00
「みんな知っていますか?宇宙の物質と私たち

人間のふかーいつながり」

高野秀路 (国立天文台) 13:00 ~ 14:00

「相対論の正しい間違え方ー疑似科学を切る」

松田卓也 (神戸大学理学部) 14:30 ~ 15:30

(4) その他 工作体験コーナー、質問コーナー等

3. 交通

・鉄道 JR 小海線・野辺山駅下車徒歩 30 分 (駅からの無料シャトルバスがあります。)

・車 中央道・須玉インターより右折, 国道 141 号を清里方面へ約 40 分

・長坂インターより左折, 清里高原有料道路を経て, 国道 141 号を小海方面へ約 30 分

上信越道 佐久インターより国道 141 号を清里方面へ約 80 分

☆ 入場無料/雨天決行

☆ 上履き (スリッパ等) を各自ご持参ください。

☆ 講演会場は入場無料ですが, 入場にあたっては整理券が必要です (整理券は当日各講演の 30 分前から会場受付と本館玄関前でお配りします)。整理券をお持ちの方は時間厳守でご来場ください。

☆ 観測所内に食堂はありませんが, 隣接する南牧村農村文化情報交流館 (講演会場) を利用できます。

☆ 天文台入口駐車場は, 大型バス・障害者専用となります。その他の自家用車の方は, 野辺山スキー場の駐車場をご利用ください (スキー場からの無料シャトルバスがあります)。

問い合わせ先:

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台 野辺山

電話: 0267-98-4300 (代表)

ホームページ <http://www.nro.nao.ac.jp/~openday/>

会務案内

日本天文学会早川幸男基金受給者募集要項

日本天文学会 早川幸男基金 (若手海外学術研究援助基金) 内規*に基づき, 海外学術研究に対して援助を希望する者を募集 (1999 年度第 4 期) 致します。

1. 援助金総額 年間 200 万円 (1999 年度)
2. 援助件数 年間 10 数件程度
3. 募集対象期間 1999 年 10 月 1 日 ~ 12 月 31 日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず, すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類 (少なくともコピーの分は A 4 紙に統一すること)

原本 1 部, コピー 5 部。

書類 (特にコピーの分) に不備があると審査段階で不利益を被る恐れがありますのでご注意ください。

- (1) 応募用カバーシート (第 92 巻 4 号 242 頁の応募用紙を A 4 に拡大コピーして使用する)。なお, 渡航目的と応募者の研究内容との関連は詳しく書くこと。
- (2) 論文リストを含む研究業績
- (3) 観測については, 観測割当通知および観測提案の写しか, それに準ずるもの
- (4) 国際共同研究については, 渡航先の招聘状および研究計画の概要
- (5) 研究集会参加については, 当該研究会開催の主旨を説明する資料, プログラム, および応募者の寄与 (口頭発表等) を証明するもの
- (6) 大学院生の場合, 研究指導者の意見書

(7) 航空運賃の見積書

(8) 関連研究論文の写し (一編)

5. 応募締切: 1999 年 9 月 10 日必着

6. 決定時期: 1999 年 9 月下旬

7. 応募書類送付先:

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会 早川基金募集係

* 早川基金内規 (社団法人日本天文学会定款参照) による援助対象資格は「日本天文学会会員で, 原則として 35 歳以下の天文学研究者であって, この基金以外の海外渡航費 (滞在費を除く) の援助を受けない者。」です。

* 1999 年はこの後, 12 月 10 日締め切りで 2000 年 1 月 ~ 3 月出発分の募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

* 援助者には, 帰国報告書の提出をお願いします。

社団法人 日本天文学会へ下記の寄付を頂きましたのでお礼を申し上げると共にお知らせ致します。

●この度, 日本天文学会研究奨励賞基金に多くの天文学会会員の方々から当資金にご寄付を頂きました。ここに深く御礼を申し上げます。

日本天文学会研究奨励賞は, 会員の方々からのご寄付に基づく資金によって, 優れた研究成果を挙げている若手天文学研究者に授与されています。

●この度, 日本天文学会早川幸男基金に天文学会会員佐藤明達氏より多額のご寄付を頂きました。ここに深く御礼申し上げます。

日本天文学会早川幸男基金は, 若手天文学研究者の海外における観測, 国際共同研究, 研究発表のための渡航費の援助を行う目的で運営されています。

社団法人 日本天文学会理事長 尾崎洋二

日本学術会議会員候補者選挙日程

日本天文学会定款・内規に基づき以下の日程で日本学術会議会員候補者の選挙を行います。

国際的な競争の中で日本の天文学の発展に寄与すべく、立候補・推薦が盛んに行われ、会員の高い関心のもとに選挙活動と投票が行われることを期待します。

選挙日程の告示	1999年7月21日(水) (天文月報8月号紙上)
選挙公示	1999年9月20日(金) (天文月報10月号紙上)
立候補・推薦の受付期間	1999年9月21日(火)～11月7日(日) (選挙管理委員会まで必着)
有権者名簿・投票用紙発送	1999年11月12日(金)立候補者・被推薦者の公表は投票用紙送付時に、自薦書・他薦書を同封します。
投票期間	1999年11月13日(土)～12月12日(日)必着
開票	1999年12月13日(月)

有権者名簿作成のために、住所、所属等に変更のあった方はFAXまたは郵便にて、9月20日(月)までに天文学会事務室にお知らせ下さい。

問い合わせ及び送付先：

日本天文学会選挙管理委員会 委員長 川村 静児

電話：0422-34-3618

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会 事務室

電話：0422-31-1359 FAX: 0422-31-5487

お知らせ

国立天文台・テレフォンサービスの電話の変更

国立天文台では、これまでNTT三鷹局が行っていた『NTT三鷹、テレフォンサービス』にて天文の情報をお届けしていましたが、NTTの組織改編に伴い6月30日をもってこのサービスが終了となりました。国立天文台では7月1日から新たに『国立天文台・テレフォン天文情報(仮称)』を開設いたします。電話番号は『0422-34-3999』です。どうぞ、ご利用下さい。

国立天文台 天文情報公開センター 広報普及室

●事務室だより●

現在の学会事務室がある所に、国立天文台の研究棟が建設されるために、8月中旬に、事務室は「すばる解析棟研究棟(1F)」へ移転します。

訂正

天文月報第92巻7号のP381の研究会・集会案内の中に誤りがありましたので、お詫びして訂正致します。

誤：第17回NARO ユーザーズミーティング

正：第17回NRO ユーザーズミーティング

編集委員 上野宗孝(編集長)、大橋正健、小野智子、斎藤芳隆、田村元秀、土橋一仁、内藤統也、和田桂一
 平成11年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
 定価700円(本体667円) 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 TEL: 0422-31-1359(事務室) / 0422-31-5488(月報・欧文編集) FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のホームページ <http://www.tenmon.or.jp> 月報編集 e-mail: gjimu@tenmon.or.jp